

平成 29 年 10 月 24 日
港湾局 海岸・防災課
水管理・国土保全局 防災課

2017年 ^{はまぐちごりょう} 濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）の受賞者が決定
～国外から個人2名、国内から1団体が受賞～

津波・高潮等に対する防災・減災に関して顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰する「濱口梧陵国際賞」（国土交通大臣賞）について、2017年の受賞者が決定されました。授賞式及び記念講演会は11月1日に行われます。

濱口梧陵国際賞は、我が国の津波防災の日である11月5日が、2015年の国連総会において「世界津波の日」として制定されたことを受け、沿岸防災技術に係る国内外で啓発及び普及促進を図るべく、国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会によって2016年に創設された国際的な賞です。

今般、2017年の受賞者が次の2名1団体に決定され、授賞式及び記念講演会が下記の通り開催されますのでお知らせします。

<濱口梧陵について>

現在の和歌山県広川町で生誕。安政元年（1854年）突如大地震が発生、大津波が一带を襲いました。このとき、梧陵は稲むら（稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、この火を目印に村人を誘導、安全な場所に避難させました。その後も、被災者用の小屋の建設、防波堤の築造等の復興にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えたと言われています。

記

- (1) 日 時 平成29年11月1日（水） 15時00分～（授賞式）
15時50分～（記念講演会）
- (2) 場 所 海運クラブ（東京都千代田区平河町2丁目6-4 海運ビル）
- (3) 受賞者 2名、1団体
- Philip Li-Fan Liu シンガポール国立大学副学長兼特別教授／コーネル大学名誉教授
・津波の発生、伝播及び沿岸域への影響の究明に大いに貢献した。
 - Julio Kuroiwa ペルー国立工科大学名誉教授／ペルー国際災害危機軽減会社理事兼本部長
・コロンビア、エクアドル及びペルーの津波被害の軽減計画の策定に貢献した。
 - 黒潮町（高知県幡多郡） ※団体での受賞
・『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮を主催するとともに、官民一体でハード・ソフト両面からきめ細やかな対策に取り組み、住民の防災意識の向上に大きく貢献した。

※上記の時間は変更となることがあります。

※当日は、撮影が可能です。撮影を希望される報道関係者は別紙4「申込用紙」に必要な事項を記入のうえ、10月27日（金）12時までにFAXでお申し込みください。

当日は14時50分までに会場にて受付をお願いします。

【問い合わせ先】

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 菊地（46752）、藤田（46764）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8689（直通） FAX：03-5253-1654
国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 竹村（35739）、天井（35742）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8457（直通） FAX：03-5253-1607

2017年 濱口梧陵国際賞 授賞式及び記念講演会

我が国の津波防災の日、11月5日が、2015年12月の国連総会において「世界津波の日」として制定されました。この機会をとらえ、沿岸防災技術に係る国内外での啓発及び普及促進を図るべく、我が国において150年ほど前に私財を投げうって村人の命を津波から守った濱口梧陵の名前を冠した「濱口梧陵国際賞」を創設致しました。これにより、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰し、その功績を称え、広く世に知って頂くものです。



濱口梧陵

～ 2020年(平成32年)は
濱口梧陵生誕200年です ～

日時: 2017年11月1日(水) 15時～
場所: 海運クラブ
(東京都千代田区平河町2丁目6-4 海運ビル)
プログラム: 授賞式 15:00～
記念講演会 15:50～

濱口梧陵国際賞選考委員会 (敬称略)

河田 恵昭 (委員長)	京都大学名誉教授、関西大学社会安全研究センター長、人と防災未来センター長
藤田 光一	国土交通省 国土技術政策総合研究所長
三宅 光一	国土交通省 国土技術政策総合研究所副所長
西川 和廣	国立研究開発法人 土木研究所理事長
栗山 善昭 (事務局)	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所長
Dr. Giovanni Cuomo	Research Director, Maritime and Coasts, HR Wallingford, United Kingdom
Prof. Billy Edge	Professor, North Carolina State University
Dr. Jane McKee Smith	Scientific and Professional, Coastal and Hydraulics Laboratory, Engineer Research & Development Center, U.S. Army Corps of Engineers
Mr. Deepak Vatvani	Senior Advisor on Coastal Flooding, Deltares, Netherlands

主催: 国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会

(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所[事務局]、(国研) 土木研究所、(公社) 日本港湾協会、(一財) 国際臨海開発研究センター、(一財) 沿岸技術研究センター、(一財) みなと総合研究財団、(一財) 港湾空港総合技術センター、(一財) 国土技術研究センター、(一財) 河川情報センター、(公財) 河川財団、(一財) 日本建設情報総合センター、(一財) 先端建設技術センター、(一社) 国際建設技術協会、(公社) 日本河川協会、(一財) 水源地環境センター、(公社) 全国防災協会、(一社) 全国海岸協会、(一財) 土木研究センター

後援: 国土交通省、内閣府政策統括官(防災担当)、和歌山県、広川町

(一社) 地域安全学会、(公社) 土木学会、(一社) 日本建築学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、(国研) 防災科学技術研究所

協賛: (特非) 日本水フォーラム

受賞者のご紹介

Philip Li-Fan Liu 教授 シンガポール国立大学副学長兼特別教授／コーネル大学名誉教授



Liu 教授は、1990 年代から 2000 年代にかけて複数の学会が関係した、全米科学財団（NSF）による津波研究プログラムのコーディネータを務め、津波の発生、伝播および沿岸域への影響の究明に大いに貢献した。Liu 教授の数値モデルである COMCOT は、多くの国で津波警報システムの構築や浸水マップの作成、津波被害の評価に採用されている。また、1992 年のフローレス島（インドネシア）津波や 2004 年のインド洋津波などの被災後の現地調査も主導した。近年では、南シナ海地域の研究者が知識と経験を共有し、津波ハザード緩和プログラムを開発するための南シナ海津波ワークショップを毎年開催し、津波研究を推進している。2015 年には、「海岸工学の研究、教育、コンピュータモデリング、および津波や波浪災害のリーダー」として、全米技術アカデミーのメンバーに選出された。

Julio Kuroiwa 教授 ペルー国立工科大学名誉教授／ペルー国際災害危機軽減会理事兼本部長



Kuroiwa 教授は、国連および政府のコンサルタントとして、コロンビアの Tumaco、エクアドルの Salinas、およびペルーの南西海岸における津波被害の軽減計画の策定に貢献した。Kuroiwa 教授の提案した災害リスク低減管理（DRRM）は、2010 年にペルーの国家政策となり、現在ではすべての技術プロジェクトにおいて DRRM の要素を取り入れることが求められている。2012 年からは、Lima - Callao 地下鉄のターミナル駅や、海岸近くにあるリマ国際空港の新滑走路下のトンネルなど数多くの建築物、インフラ施設、都市などにおいて津波の影響を軽減するための重要なプロジェクトにコンサルタントとして参画している。Kuroiwa 教授は、「地域社会の災害リスクを軽減するための積極的な取り組みと災害リスク軽減の提唱者」として国連笹川防災賞を受賞している。

黒潮町（高知県幡多郡）



黒潮町は、南海トラフ巨大地震に伴う津波高として我が国最大の 34.4m が想定される中、町役場と町民が一体となり、「南海トラフ地震としっかりと向き合い、地震・津波と日本一うまく付き合う」という思想の下、ハード対策として津波避難タワー等の整備、ソフト対策として戸別津波避難カルテの作成等、きめ細かな防災活動を実施し、地域住民の防災意識の向上に大きく貢献した。また、防災対策の促進と町おこしの両立の観点から、地域の食材を活用した缶詰工場（第 3 セクター）を設立するなど、我が国地方行政における防災施策のフロントランナーとして活躍している。さらに、高知県等とともに、『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」を主催するなど、講演会等の場を活用して、防災対策の国内外への普及・啓発に取り組んでいる。

「世界津波の日」に関する国土交通省の取り組み

国土交通省では、「津波防災の日」・「世界津波の日」である11月5日にあわせ、津波防災に関する国際的な普及・啓発活動の取り組みを計画しています。

1. 濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）（今回記者発表）

○概要

- ・津波・高潮等に対する防災・減災に関して顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を対象とし、2017年の受賞者を表彰。

○授賞式、記念講演会

- ・日時：平成29年11月1日（水）
- ・場所：海運クラブ

2. 大規模津波防災総合訓練の実施（10月6日記者発表）

○概要

- ・海外の津波防災関係者、留学生等も参加しての津波避難訓練、総領事館による視察、世界津波の日の広報展示など国際的な取り組みを実施予定。

○日時・会場等

- ・日時：平成29年11月3日（金）
- ・会場：宮崎県宮崎市（宮崎港東地区13岸壁）他
- ・HP：<http://www.tsunamibousai29.jp>

3. チリ共和国と連携し津波防災に係る取り組みを実施

○概要

- ・チリ共和国の政府関係者が2. の大規模津波防災総合訓練に参加予定。
- ・チリ共和国が11月8日（水）に実施する津波避難訓練にあわせて、チリで発生した地震に伴う津波が太平洋を伝播したことを想定し、日本国内で情報伝達訓練等を実施予定。

4. その他

- ・津波防災の日に併せて、地方整備局等が実施する訓練において、世界津波の日の広報展示等を計画。

濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）授賞式
撮影申込用紙

津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会事務局 行

FAX：046-844-5072

■日 時：平成 29 年 11 月 1 日（水） 15:00～
■会 場：海運クラブ
（東京都千代田区平河町 2 丁目 6-4 海運ビル）

貴社名：_____

媒体名：_____

ご担当の方のお名前：_____

ご連絡先電話番号：_____

ご連絡先 FAX 番号：_____

人数：_____ 名

※ 必要事項を記入の上、10月27日（金）12:00までにFAXでお申込下さい。

FAXの送付等に関するお問い合わせ

国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会事務局 野田 TEL：046-844-5040